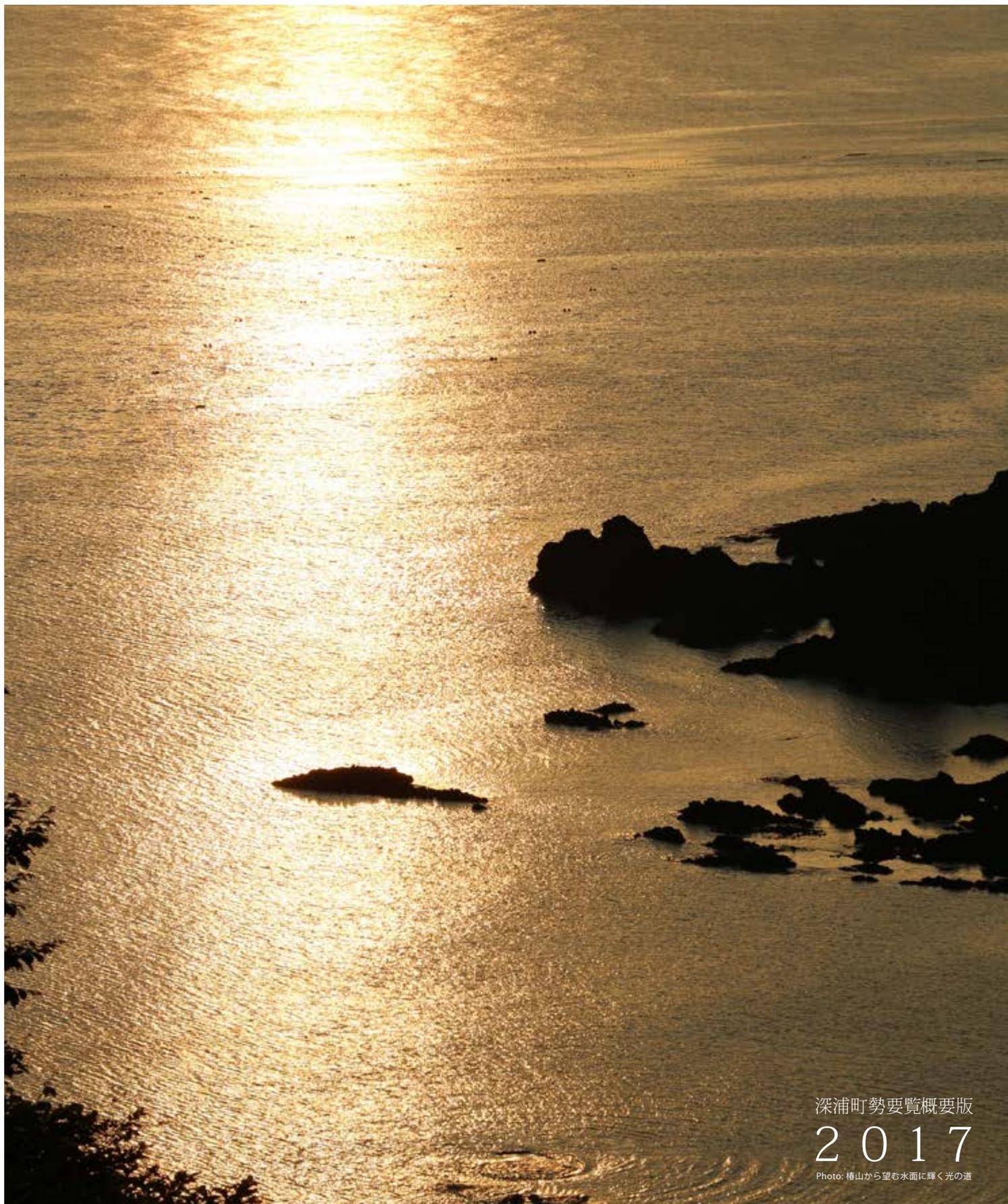


四季自然 鮮やかに彩る町「ふかうら」

F U K A U R A



深浦町勢要覧概要版

2017

Photo: 栢山から望む水面に輝く光の道

奇岩怪石が連なる海岸美と日本海を染める夕陽が煌めく

夕陽海岸

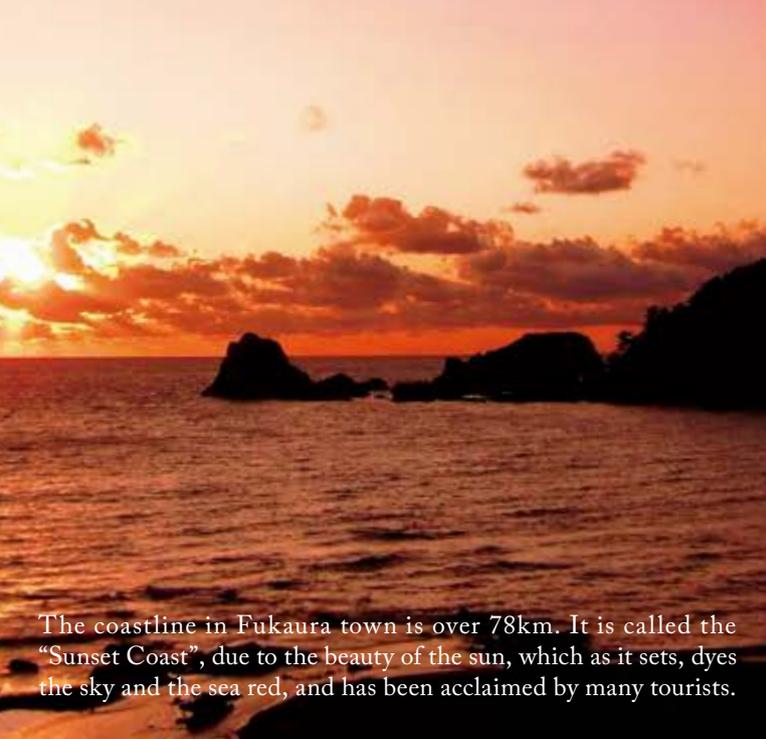
BEAUTIFUL SUNSET COAST IN FUKAURA

青森県の西南部に位置している深浦町は、日本海に面する約78kmの海岸線の至る所から、海と空を茜色に染める夕陽を望むことができます。

季節や天候、見る者の心のありようによって様々な表情を作り出す深浦町の夕陽。その優美さから「夕陽海岸」とも呼ばれ、夕陽を見るだけでも、この町に来る価値があると絶賛されています。

なかでも波打ち際にある露天風呂から夕陽が眺められる全国屈指の人気を誇る温泉や開放感あふれるドーム型の開閉式展望風呂があるリゾート施設などは、多くのリピーターから厚い支持を得ています。

空と海の壮大なスクリーンに映える夕陽の姿を眺めながら、贅沢なひとときを堪能してください。



The coastline in Fukaura town is over 78km. It is called the "Sunset Coast", due to the beauty of the sun, which as it sets, dyes the sky and the sea red, and has been acclaimed by many tourists.



日本固有種で特別天然記念物に指定されている「ニホンカモシカ」



青森県で最初に発見された白神山地を代表する固有種「アオモリマンテマ」



国内で十指に入る大きさを誇る白神山地最大級の「カツラの巨木」



白神山地の秘境「最高峰向白神岳」を望むことができる「天狗峠」



国の天然記念物に指定されている日本最大のキツツキの「クマゲラ」



雄大な日本海や岩木山、世界遺産地域の「白神岳山頂」



白神の名を冠した白神山地の固有種「シラガミクワガタ」



緑が映える夏のブナ林とは違い、凛とした美しさを見せる「ブナ林の樹氷」



冬は耳先の黒を残して、真っ白に毛色を変える「トウホクノウサギ」

不思議な魅力と伝説に満ちた神秘的の湖

十二湖

LAKE JUNIKO IS A CHARMING PLACE

十二湖は、33の湖沼群からなるブナの森に囲まれた美しい公園です。昭和28年に県立自然公園、昭和50年に津軽国定公園へ指定された780haもの広大なエリアでは、「十二湖トレッキング」「十二湖33湖めぐり」、かんじきをつけて雪の上を歩く「十二湖スノーハイク」、十二湖を眼下に望む「大崩登山」など体験プログラムも充実しています。

また、十二湖に関する資料や展示物を見ることができ、「十二湖ビジターセンター」「白神十二湖エコ・ミュージアム」、「イトウ養魚場」、キャンプに格好の「十二湖リフレッシュ村」、自然体験型宿泊施設「アオーネ白神十二湖」や森の中にある茶処や食事処などがあり、思い思いに魅力に満ちた神秘的の湖を満喫することができます。



"Lake Juniko", to the west of the Shirakami-Sanchi range, is dotted with 33 lakes of all shapes and sizes. When you look at them from Mt.Ookuzure, Many of the lakes are small and hidden in the forest. You are able to see 12 lakes from top of the mountain. So it came to be called "Juniko", which means "12 lakes".



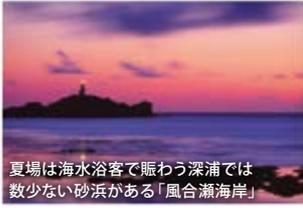
津軽藩の殿様が千枚の畳を敷かせ
大宴会を開いたとされる「千畳敷海岸」



北前船の交易が盛んだったころに
建てられた弁天堂がある「弁天島」



ゴツゴツとした岩と深く入り組んだ
海岸美を堪能できる「大間越海岸」



夏場は海水浴客で賑わう深浦では
数少ない砂浜がある「風合瀬海岸」



ニッコウキスゲとともに海岸沿いの
ハマナスも美しい「行合崎海岸」



日本海に沈む夕陽を眺める
シルエットが特徴の「ライオン岩」



リゾートしらかみの
絶好の撮影スポット「赤岩」



海岸沿いの露天風呂からの絶景が
全国に知れ渡った「黄金崎不老ふ死温泉」



開閉式露天風呂から夕陽が見られる
滞在型リゾート施設「ウエスト八幡山」



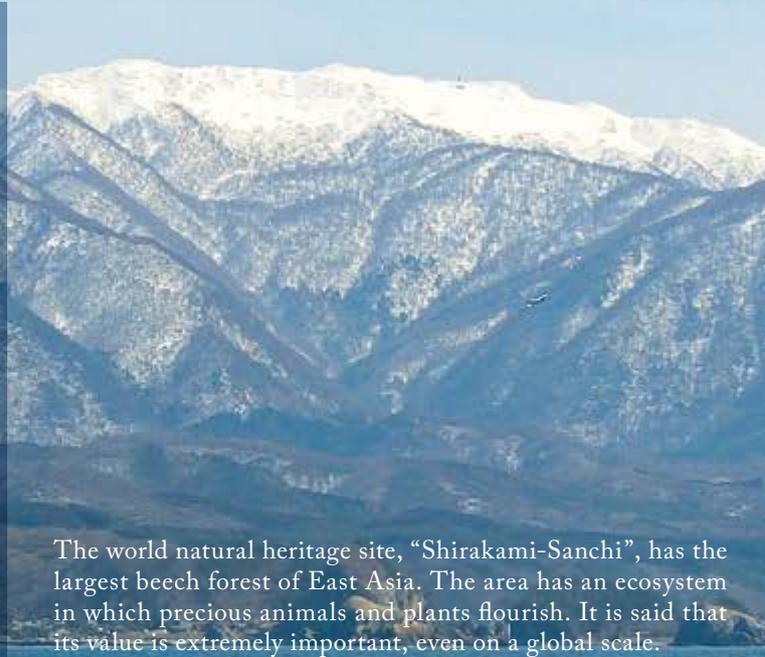
東アジア最大級のブナ原生林が広がる世界自然遺産

白神山地

WORLD NATURAL HERITAGE: SHIRAKAMI-SANCHI

白神山地は、青森県から秋田県にかけて広がる総面積約13万haにおよぶ広大な山岳地帯の総称です。このうち16,971haが、人為の影響をほとんど受けていない世界でも最大級のブナ原生林で、貴重な動植物が分布する極めて価値の高い生態系を有する地域と認められ、1993年12月に日本初の世界遺産（自然遺産）として登録されました。

白神山地には、ブナやミズナラ群落、サワグルミ群落等をはじめ多種多様な植物と、ツキノワグマ、クマゲラ、イヌワシ等の貴重な動物が生息し、白神山地全体が森林博物館的景観を呈しています。特に世界遺産地域は、最も良く原生状態が保たれており、その価値は、地球規模で見ても極めて重要です。



The world natural heritage site, "Shirakami-Sanchi", has the largest beech forest of East Asia. The area has an ecosystem in which precious animals and plants flourish. It is said that its value is extremely important, even on a global scale.



青インクを流し込んだような湖水で
陽光と見る角度で千変万化する「青池」



湖の形が鶏のトサカのように湖畔から
間近に迫る大崩を味わえる「鶏頭場の池」



湧水が流れ込むため透明度が高く
青さは青池に匹敵する「沸壺の池」



レストランや温泉施設等を備えた自然
体験型宿泊施設「アオーネ白神十二湖」



浸食崩壊で白い岩肌がむき出しになった
大断崖の「日本キャニオン」



日本一小さいトンボとして知られ
浅い水域環境を好む「ハッチョウトンボ」



初夏に繁殖のために渡来しキョロロと
美しい鳴き声人気の「アカショウビン」



登山道も整備され十二湖と日本海を
一望できる絶景が楽しめる「大崩登山」



かんじきをつけて十二湖の森ガイドと
雪の中を歩く「十二湖スノーハイク」



「深浦町第二次総合計画」まちづくりの展開と重点プロジェクト

5つの基本的考え方と5つの施策、 3つの重点プロジェクトを柱に新しいまちづくりを進めます

これからのまちづくりに向けた基本的な考え方として、①「自然」「文化・歴史」をつなぐまち（地域の魅力・地域資源）②「温もり」のあるまち（ひとの持つ個性・住民気質）③「活力」のあるまち（地域活性）④「安全・安心」なまち（暮らしやすさ）⑤深浦町らしいまちづくり（独自性）の5つを掲げ、地域の実情に応じた特色ある持続可能なまちづくりを目指します。

深浦町の豊かな自然や様々な地域資源（地域特性・個性）を活かし、暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを推進するために、5つの施策

将来像

「まち」「ひと」「自然」がつなぐ、わのまちふかうら

- 1 保健・医療・福祉施策
- 2 産業振興施策
- 3 環境保全・生活環境施策
- 4 教育・文化施策
- 5 住民協働・行財政施策

重点プロジェクト

地域医療・地域包括ケア
推進プロジェクト

第一次産業と観光業の融合による
地域振興プロジェクト

定住促進プロジェクト

分野での取組とともに、複数の施策を集結・融合させながら分野横断的・先導的に展開していく3つの重点プロジェクトを掲げました。

3つの重点プロジェクトは、深浦町が抱える人口減少及び少子高齢化の進行、地域経済の停滞といった課題に対し、地域資源を強化・活用することにより、まちの魅力や活力、付加価値を一層高め、私たちのまち深浦町が暮らしやすく、定住推進やまちの賑わいにつなげていくことをめざし、住民の皆さんとともに取り組む政策方針です。

若い世代を中心とした定住に求められる
住・雇用・子育て等の環境整備を総合的に推進
観光等を通じた交流人口の拡大、定住PR（まちの魅力を発信）
空き家等の有効活用の検討

定住促進プロジェクト

【まちの魅力や活力】

地域資源の活用

【地域経済の活性】

産業振興

住民との協働による推進

住民や地域の取り組みの推進
（暮らしやすい地域づくり）

若い世代や女性、意識ある人材が
輝き活動できる環境づくり

地域医療・ 地域包括ケア推進 プロジェクト

地域医療環境への不安解消

住まい・医療・介護・予防・生活支援が
連携した切れ目のない地域包括ケア体制の構築

健康寿命の延伸、介護予防

第一次産業と観光業の 融合による地域振興 プロジェクト

第一次産業の振興と
雇用創出、所得向上を目指した取り組み

豊かな自然環境と
食資源を融合した攻めの観光振興

【元気な住民】

健康づくり

移住者の 深浦ライフ

FUKAURA LIFE OF MIGRANTS



◎鈴木宏介(千葉県出身)、里朱(愛知県出身): 宏介さんが、仕事の関係でベトナムのホーチミン駐在中、妻の里朱さんと出会って結婚。その後、福井県へ転勤となり1年半ほど暮らした後、2015年10月末、宏介さんが勤務する会社の新事業立ち上げのため深浦町へ転勤、家族揃って深浦町へ移住。

地元の人々の温かさを実感する、心地よい毎日。

私たちが深浦町に引っ越してきたのは、約1年前。夫が務める会社と深浦町、弘前大学が連携し、サーモンの養殖事業を新たに始めることがきっかけでした。これまで、国内、海外と様々な土地で暮らしてきましたが、深浦町は、今まで暮らしてきたよりも空気がおいしく、本当

にきれいな場所です、騒音もなくて静かで、心地よさを感じながら暮らしています。

私たちが暮らしている岩崎地区には十二湖があり、青く輝く「青池」は、春から夏にかけての姿が本当に美しく、また、日本海に沈む夕日の美しさも格別です。こんな風景の中で毎日暮ら

すことは、子どもたちにもいい影響を与えてくれるのではないかと思います。

深浦町に来て衝撃的だったところが、もうひとつ。地元の方たちが、県外から来た全く知らない私たちを快く受け入れてくれる、こんなにもお世話してくれるんだと驚くことばかりです。

町内会の祭りや様々な会合に参加する機会をつくってくれたおかげで、町内の方たちとも自然と溶け込むことができました。周りに身内はいませんが、子どもはまだ小さいので、近所の方たちが声をかけてくれたり、気づかってくれていることにとっても感謝しています。

そして、いつも近所の方々が、新鮮な魚や野菜をお裾分けに来てくれます。先日いただいたヒラメを5枚に下ろして昆布メに。ここで暮らすようになってから魚をさばく技術がかなり上達しました。野菜も新鮮

で、おいしさに毎回感動しています。こんなにおいしい野菜が採れる土地なのであれば自分でも畑を作ってみたいと思い、最近庭の一角で家庭菜園をはじめました。息子も保育園に行く前の水やりが日課となり、今までとは違った暮らしを日々楽しんでいきます。

先日、普段お世話になっている町の方たちへ少しでも恩返しできればと、公民館で近隣の子どもたちに向けた英語講座を開きました。英語教室を開くことまでは考えていませんが、今後毎年何度かでも、地域の子どもたちが英語に触れる機会をつくっていければと思っています。

まだまだ知らないことがたくさんありますが、この温かな人たちが暮らす町で、新たな発見、体験を楽しみながら、町の人と一緒に暮らしていきたいと思っています。



深浦町の移住・定住・子育てへの支援策

深浦町は、世界自然遺産白神山地と日本海に抱かれた豊かな自然、そしてその自然が育んだ豊富な農水産物を有しています。町では、それらの地域資源を活用した観光振興、産業振興を地域活性化のための重要政策に掲げ、その取組を進めることにより移住定住の促進と交流人口の拡大に結び付けてまいりました。今後は、これまでの政策を継承しつつ、特に若者・子育て世帯が住みよい環境づくりに取り組むこととしています。

【主な移住・定住への支援策】(平成29年4月1日現在)

-  定住促進住宅の計画的な整備
-  第3子以降の出産育児支援金 50万円支給
-  第3子以降保育料無料
-  中学卒業時までの医療費全額助成
-  起業や新分野へ進出する取組経費への助成
-  移住・新婚・子育て世帯を対象とした住宅整備に対する支援

保健・医療・福祉施策

Health Care and Welfare



誰もが元気で健やかに 生きいきと暮らすまち

少子高齢化が進行する中で、住民の誰もが心身ともに健康で、毎日を自分らしく、安心して生きいきと送れることを望んでいます。

そのため、住民が生活習慣病や介護状態に陥らないよう予防医療に重点を置いた健康増進施策の展開、高齢者や障害のある人が自立した生活や社会参加ができるために必要な支援、若い世代が安心して子育てができる環境づくり、いざ

というときに適切な医療が受けられる体制づくりなど、すべての人が住み慣れた地域において、生きがいを持って健やかに暮らせるようなまちづくりを進めます。特に、高齢化が進むこれからは、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援が行われるよう、様々な活動主体（団体・担い手）と連携し、引き続き地域包括ケアの取組を進め、ともに支え合うまちづくりを目指します。

まちの活力を生み出す 明日を見据えた産業づくり

産業の振興は、まちのにぎわいや地域経済の活性を生み、将来も本町で暮らしていくための糧となる重要な営みであり、その営みを通じて得られた人同士の交流は、新たな知識や技術の連携へとつながります。そこで、町の様々な地域資源や産品を外部へ発信するとともに、知識や技術を取り入れながら新たな雇用の創出を図るほか、基幹産業である農業、水産業の振興や観光資源、森林資源の活用などによる町全

体の産業振興を目指します。また、町内における産業間の連携を図り、生産から加工・販売までを地域全体が役割分担する地域6次産業の構築や、地場産業の発展につながる新たな取組の展開、消費者ニーズに応じた生産者の意識改革や新技術の導入など、事業者による主体的な取組を支援し、住民の経済力の向上や働きがいのある雇用の創出を図り、地域の賑わいや活力を創るまちづくりを進めます。

産業振興 施策

Industrial Promotion



環境保全・ 生活環境施策

Environment conservation
and living environment



自然と調和した 住み続けたい環境づくり

深浦町の宝である豊かな自然を次世代へと引き継ぎ、これからも残していきたいと願う私たちだからこそ、一人ひとりが環境美化やごみの減量化、リサイクル活動など、環境へ配慮した暮らし方を自覚して取り組む、豊かな自然を守り育てるとともに、自然環境に配慮した土地利用や基盤整備を推進することが必要となっています。

一方で、自然と調和し、共生しながらも、身近な地域における様々な生活不安を軽減し、暮らしやすさとともに交流のある生活環境の改善、整備も引き続き重要となります。そのため、道路・交通・住宅・生活排水処理等、生活基盤の計画的な整備とともに、災害や事故から大切な生命や財産を守る安全・安心な環境整備を進め、自然と住民の暮らしの豊かさが向上し、利便性や安全性を備えた社会基盤、生活環境の形成を進めます。



教育・文化 施策

Education and Culture

人を育て未来へつなぐ 幅広く学べる環境づくり

人やまちを豊かにしていくためには、日々の暮らしの充実や、住民一人ひとりの心身の豊かさを探究できる環境づくりを進めるとともに、将来の深浦町を担う人材を育むことが必要です。

そのため、学校教育においては、確かな学力の定着と豊かな人間性の育成を目指し、家庭、地域との連携を深め、青少年が社会との関わりを自覚し、たくましく生きる行動

力を身に付けることができる環境づくりを進めます。

また、住民の学びたい、取り組みたいという意欲に応えるため、本町の歴史や文化、自然や生物、地域の伝統行事・芸能、スポーツ等をテーマとした生涯学習やレクリエーション活動の機会を通して、住民同士のつながりや郷土への愛着を深めるとともに、ふるさとの教育・文化資源を保存・継承していきます。

互いを認め、尊重し合う みんなが主役のまちづくり

ひとやまちに活気があふれ、持続的に発展していくためには、地域の強みを活かした産業振興策の展開とともに、中長期的な視点で計画的かつ堅実な行財政運営を進めていかなければなりません。

そのため、行政サービスのさらなる向上を図るとともに、深浦町に暮らすすべての方々に対して、簡素で分かりやすい表現による積極的な行政情報の提供に努めるなど、引き続き効率的・効果的で信頼される健全な行

財政運営に取り組んでいきます。

また、人口減少や少子高齢化の進行に伴い複雑・多様化する地域課題に対応していくためには、行政のみならず、住民や地域の団体、企業など多様な主体が連携・協力して参加する協働のまちづくりを進める必要があります。特に、若い世代や女性、意欲ある人材が、まちづくりや地域において大いに活躍できるような環境づくりを進め、次代に活気あふれる地域を受け継いでいきます。



住民協働・ 行財政施策

Resident Collaboration and
Administrative finance

町民の声を町政につなぐ 確実な歩みを未来へ繋ぐ

町議会は、町民の代表として選ばれた町議会議員で構成され、町政の基本的な重要事項を議決する意思決定機関です。

年4回の定例会と、必要に応じて開かれる臨時会のほか、総務文教・産業建設の2つの常任委員会、議会運営委員会及び広報編集委員会を設置し、その議論を通して、町民の福祉の増進や地域の発展に寄与し得る議会活動を展開していきます。



行政・議会

Administration and Assembly

- 議員定数 / 12人
- 総務文教常任委員会 / 6人
- 産業建設常任委員会 / 6人
- 議会運営委員会 / 4人
- 広報編集委員会 / 6人





深浦町 青森県

青森県深浦町

〒038-2324 青森県西津軽郡深浦町大字深浦字苗代沢84-2
Tel.0173-74-2111 [代表] Fax.0173-74-4415
<http://www.town.fukaura.lg.jp/>

